



ニュースを地図帳で解説

今、社会で大きな問題になっていること

東北福祉大学教授 有田 和正



テレビや新聞で報道されているように、 今年は大雪が日本海側を中心に降ったのはどうして？

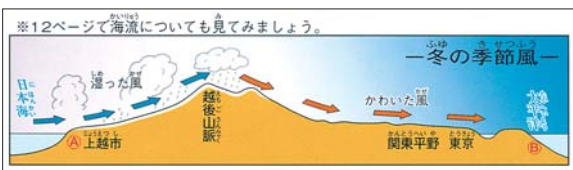


帝国書院『小学生の地図帳』（初訂版）P.12

いろんな理由が考えられますが、一つの理由として、次のようなことが明らかになっています。

「地図帳の12ページ」を開いてください。赤い線で、南から北へ暖流の「対馬海流」が流れているのを表していますね。この海流の水温は、例年、冬でも10度前後でしたが、今年は2～3度高いそうです。

上空に、マイナス40～50度の寒気が北からはり出してくると、温度差が52～63度にもなります。温度差が大きくなるほど蒸発する水蒸気が多くなります。風呂に入って他人の顔が、みえにくくなるのと似ています。



『小学生の地図帳』（初訂版）P.58

水蒸気は、上空の寒気に冷やされて雪や氷になります。そこへ、北西の季節風が吹いて雪を日本列島へ運び、山地・山脈にぶつからせ、大雪を降らせるのです。今年は、例年より上昇する水蒸気の量が多いため、降る雪の量も多くなっているのです。新潟



『小学生の地図帳』（初訂版）P.9

県十日町市（地図帳9ページ）は、雪の多い市として有名ですが、今年は、十日町市より少し南西にある津南町（北緯37度付近）が特に多く、4mをこえたそうです。1階は完全に雪の中ですね。

雪は、水が凍ったものですから重いです。屋根にたまった雪をおろさないと家がつぶれてしまいます。実際、何軒もつぶれ、死者も100人をこえました。

自衛隊まで雪おろしや除雪を手伝っているほどの大雪です。秋田新幹線は何度も運転できないほどの雪でした。

ロシアの首都モスクワ市（地図帳の47ページ）は、マイナス50度にもなったそうで、寒いのは日本だけではなくそうです。



『小学生の地図帳』（初訂版）P.47

ロシアには世界一低い気温の場所があります。探してみましょう。



ムハンマドの風刺漫画が、なぜ世界をゆるがす大問題になっているのか？



2006年2月11日よりイタリアの「トリノ」(地図帳52ページ)で冬季オリンピックが行われていました。これ以上に世界の国をゆさぶっている問題があります。

それは、2005年9月「デンマーク」の新聞が12枚の風刺漫画を掲載したことからおこりました。

複数の漫画家が、イスラム教の預言者ムハンマド(日本人はマホメットと発音してきましたが、原語のアラビア語に忠実にムハンマドとよぶようになりました)を題材にして描いた風刺漫画(それとなく遠まわしにからかったり、批判したりする画)で火がついたのです。

預言者(神の靈感を受けた人が神のおつげをのべること)の姿を描くことは、偶像(神や仏をかたどって信仰するためにつくった像)崇拜(あこがれ、うやまうこと)を禁じるイスラムの原則に反するため、イスラム教徒がおこっているのです。

ムハンマドは、神ではありません。神の教えを人々に教えようとする人です。

2001年9月11日、アメリカで同時多発テロの後、「イスラム教徒=テロリスト」という偏見が世界に広まりました。これに対して、イスラム教徒は、反発を強めていました。

ちょうどそんなとき、風刺漫画が描かれてイスラム諸国の反発が広がったのです。

「地図帳の74~75ページ」をみてください。しるしをつけると広い範囲に広がっています。

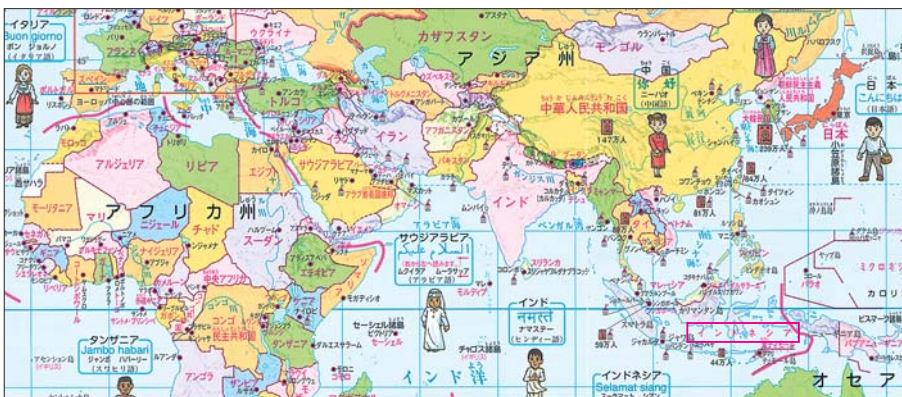


『小学生の地図帳』(初訂版) P.52



『小学生の地図帳』(初訂版) P.49

デンマークなどに対して、主な抗議行動が行われている国、地域をさがし、地図帳にしるしをつけましょう。



『小学生の地図帳』(初訂版) P.74~75

フィリピン、マレーシア、インドネシア、バングラデッシュ、インド、パキスタン、スリランカ、アフガニスタン、イラン、イラク、シリア、ヨルダン、レバノン、サウジアラビア、エジプト、リビア、ソマリア、ケニアなど

帝国書院のホームページ <http://www.teikokushoin.co.jp>

(地理・歴史・地図ニュース、今日は何の日?、年間指導計画案、各種リンクコーナーなど多彩)